TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位　これからどうすればいいのでしょうか。

マタイによる福音書 27:57-66

2024年8月10日＆11日

余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。月曜日から VBS が始まります。VBS を手伝ってくれる 100 人以上のボランティアとハワイから来ているミリラニ・バプテスト教会チームに感謝します。先週は TBC 三郷でも VBS がありました。こちらがその写真です。三郷の奉仕者もありがとうございました。

祈りましょう。

イエスが十字架につけられた後、暗闇が 3 時間にわたって大地を覆ったことを見てきました。その間、イエスは御父から引き離されました。そしてイエスはこう叫ばれました、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか。」次に、こう宣言しました。「成し遂げられた。」、と。

そして神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けました。神の御臨在、神の御国への扉が開かれました。地震が起こり、岩が裂け、墓が開いて、ローマの兵士達は叫びました、「まことに、この人は神の子だった。」

今日は、これらを見ていた人たちがどのように反応したか見ていきましょう。

II. これからどうすればいいのでしょうか

(1) アリマタヤのヨセフ

マタイ 27:57-60 を開きましょう。

「57: 夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフと言う人が来た。この人もイエスの弟子であった。58:彼はピラトのところに行って、イエスの遺体の引き取りを願い出た。そこでピラトは、渡すように命じた。59:ヨセフは遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、60:岩に掘った自分の新しい墓に納めた。そして、墓の入り口に大きな石を転がしてから立ち去った。」

まず「イエスの弟子」であったアリマタヤのヨセフという金持ちの反応が分かります。彼はイエスの遺体を引き取ることを求めました。

ルカによる福音では、彼は善良な正しい人だったとあります。彼は最高法院の一員でしたが、イエスを殺すという最高法院の決定には賛成しませんでした。彼は神の御国を待ち望んでいました。

ヨハネによる福音書によると、彼はイエスの弟子でしたが、秘密にしていました。ユダヤ人を恐れていたからでした。しかし、彼はイエスの遺体を引き取ったあと、ニコデモと共にイエスの遺体を香料が添えられた亜麻布で包みました。

ヨセフの行動を通して、メシアに関するもう一つの預言が成就されました。イザヤ 53:9 にはこう書かれています。「…その墓は悪人どもと共にされ／富める者と共に葬られた。」

ローマ人は通常、十字架につけられた犯罪者の遺体を集団墓地に入れましたが、イエスの遺体は金持ちの墓に入れられました。このように、イエスの死後、この秘密の弟子は変わり始めました。

(2) 女性たち

二つ目は女性たちの反応です。

61 節「マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓に向かって座っていた。」

2 人の女性はただそこに座って墓を見ていました。復活を期待していたのでしょうか。いいえ。復活後でも、女性たちは、イエスの遺体がどこかに持っていかれたと思っていました。ではなぜそこにいたのでしょうか。特に神学的な理由はありませんでした。二人はただイエスを愛し、イエスと一緒にいたかっただけです。

本当の愛は、その人と一緒にいたいという想いで表れます。それは子供のような愛です。

息子が 1 歳の時、美樹が外出しなければならない事があり、その間、息子と家で遊んでほしいと頼まれていました。でも、彼は私と遊ぶことを拒否しました。パパではなくママが欲しかったのです。息子はママが戻るまで動こうとせず、ただドアを見つめて座っていました。

子供は小さい時、親を特別に愛するものです。特にママをですが、パパもそうです。両親は彼らの全てであり、両親に全面的に頼っています。とても信頼しています。そして、いつも両親と一緒にいたいのです。

ただただ親の所に来て隣に座ったり、寄りかかったりします。それで満足します。

この女性たちはこのようにイエスを愛していました。そして、イエスの復活後、最初に御自分を現わされたのは彼女らでした。

クリスチャンの中には女性たちのような人もいます。神学的に素晴しい理解がないかもしれません。しかし、イエスを愛しています。

完全にイエスに頼り、信頼して、いつも一緒にいたい人たちです。毎朝イエスの御言葉を読み、イエスに祈り、イエスと一日会話するのが大好きなのです。その方達は一日中イエスと話すのが大好きなのです。

このようなクリスチャンこそ、主が一番御自身を現してくださるクリスチャンです。

（3） 祭司長たちとファリサイ派の人々

第 3 は祭司長たちとファリサイ派の人々の反応です。

62 節-66 節「62:明くる日、すなわち、準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところに集まって、63:こう言った。「閣下、人を惑わすあの者がまだ生きていたとき、『自分は三日後に復活する』と言っていたのを思い出しました。64:ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』と民衆に言い触らすかもしれません。そうなると、人々は前よりも、もっとひどくだまされることになります。」65:ピラトは言った。「番兵を出してやるから、行って、思うとおりに見張らせるがよい。」66:そこで、彼らは行って石に封印をし、番兵と共に墓を見張った。」

祭司長たちやファリサイ派の人々は、イエスの弟子たちがイエスの遺体を盗んで、イエスが復活したとみんなに思わせることを恐れていました。そこで、彼らはピラトに墓を見張るように頼みました。

興味深いことに、自分たちの宗教を守るためにイエスを殺すという陰謀が成功させたにもかかわらず、彼らが一番パニックを起こしていました。

それは罪のない人を殺してしまったという罪悪感からだった人もいたかもしれません。

ある人は恐怖をもっていたかもしれません。イエスが十字架上で自分たちのために祈ること、暗闇が地を覆うこと、イエスが「成し遂げられた」と宣言すること、暗闇が明け神殿の垂れ幕が裂けること、地震が起こり、岩が裂け、墓が開くことを予想していませんでした。

イエスがラザロを死者の中からよみがえらせたことを知っていたので、こう考えたかもしれません。もしまた復活があったら、あるいはそんな噂が流れたら、どうなるのでしょうか。彼らはどのように民に対する権威を保てるのでしょうか、と。

ここで本当の問題が見えます。彼らの宗教は、自分がどうすればいいのかが中心であって、神がどうするのかが中心でありませんでした。神は眼中にいませんでした。彼らの中では、自分たちの宗教を続けていくために最善を尽くさなければなりませんでした。

イエスは御自分の目的を果たすために、誰かや、何かをコントロールしようとしていなかったことに気づいていますか。

先週、イエスの御父との関係を「水と魚」の関係に例えましたが、魚が水の中でするように、イエスはいつも御父の内で動き、飲み食いし、呼吸し、全てのことを御父としておられました。

イエスの目的は一つだけでした。御父に頼り、御父に導かれ、御父と共にすべてを行うことです。モーセや

ヨシュアのように、人生が神に頼ること、神と共にすべてを行うこと特徴でした。

祭司長たちやファリサイ派の人々はこれを持っていませんでした。神の御言葉を知っていたました、神を知りませんでした。自分自身に頼り、導いて、自分ですべてを行いました。生ける神がすべてをコントロールし、完全に信頼できる方だとしりませんでした。

教会として、私たちも注意しなければなりません。私たちも、すべてをコントロールし、完全に信頼できる生ける神を知らないといけません。そうでなければ、私たちも色々なことをやりくりすることに忙殺され、神の導きを求めず、祈る時間がなくなってしまうでしょう。

（4） 弟子たち

第 4 は弟子たちの反応です。イエスが亡くなった時、弟子たちは姿を消していました。イエスが復活した後も、弟子たちはあまり活動していませんでした。

ヨハネによる福音書 21 章では、弟子たちがガリラヤに戻った時のことが書かれています。ペテロは数人の弟子たちを連れて釣りに出かけました。一晩中漁をしましたが、何も獲れませんでした。そこでイエスは、舟の右側に網を投げるように言われました。そうすると、網一杯に魚がかかりました。

イエスは言いました。「**ヨハネの子シモン、あなたはこれ以上に私を愛しているか。**」それは次のような意味としてとらえることができます。
「あなたはこの弟子たち以上に、この弟子たちが私を愛する以上に私を愛しているか」
「あなたはこれ以上に、あなたが今やっていること―つまり漁－以上に私を愛しているか」

神学者の意見は分かれています。個人的には 2 番目の選択肢の方が好きです。いずれにせよ、イエスは、あなたの召命を続けなさい、と伝えました。イエスは次に、ペテロに 3 回「わたしを愛しているか」と尋ね、「私の羊を飼いなさい」と 3 回命じました。イエスのメッセージはシンプルなものでした。

イエスが物理的に離れているからといって、私たちの召命が保留になっているわけではありません。神の御国への扉は今、開かれています。神は今、私たちと共におられます。私たちの人生は今、イエスに頼り、イエスに導かれ、イエスと共に全てを行うものでなければなりません。

アリマタヤのヨセフの行動でこのことが現れています。イエスの死によって、ヨセフは変わりました。ヨセフは信仰の一歩を踏み出しました。それは自分のサンヘドリンとしての立場を、そして命でさえも失うことになっても、です。

ヨセフは自分の人生をコントロールすることをやめ、神を頼り、神に導かれ、神と共にすべてを行うことだけに集中しました。そして神の御国のために自分の持っているものを捧げました。

私たちはどうでしょう。神の御国への扉は今、開かれています。神は今、私たちと共におられます。私たちの人生を今、神に頼り、導かれ、共にすべてを行う―神の御国と神の民のために、神に与えられた賜物、召命を用いる―、そのような人生にしましょう。

信仰の一歩を踏み出し、神と共に新しい人生を歩み始めましたか。それともイエスが再臨されるまで同じ生活を送ろうと考えていますか。イエスは聞いておられます。「これ以上にわたしを愛しているか」、と。

神の御国は来ました。そこに入り、神との交わりの中で新しい人生を生きましょう。

もしまだイエスを救い主として受け入れていないのであれば、ぜひ今日そうしてください。

もし自分の人生は自分がどうすればいいのかが中心であるなら、神に頼り、導かれ、神と共にすべてを行うことを始めましょう。それが家庭、職場、学校、そして教会の中であっても、です。神が中心であるようにしてください。神の御国、神の民、そして神の栄光のために、あなたの人生を神に用いられるようにしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3324jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的成長について
9月22日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター（2名募集）
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト&印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org